



GLOBALG.A.P.

GLOBALG.A.P. 一般規則

パートI – 別紙 I.4 用語定義

日本語版 5.2（不明点がある場合は英語版を参照してください）

発効日：2019年2月1日

義務化への移行日：2019年8月1日

別紙 I.4 GLOBALG.A.P. 用語定義

以下の用語は GLOBALG.A.P.文書中において次のように定義されています。

用語はアルファベット順に記載されています。

1. **Accreditation body (AB)【認定機関】**: ISO/IEC 17065 認定に伴い、GLOBALG.A.P. 認証機関の評価および認定を担当する組織。GLOBALG.A.P. システム内での認定機関の要求事項は一般規則 PartIII, 2.3 に記載されている。
2. **Active ingredient【有効成分】**: 農薬や薬品に含まれる、生物学的に効力をもつ成分。農薬や薬品の中には2種類以上の有効成分を含むものもある。
3. **Annual crop【一年生作物】**: 1年以内でその生活環を終える作物。すなわち、種子（植物的な種子、あるいは根茎など無性生殖の繁殖材料）からの発芽、生長、開花、結実、枯死までがーシーズン内で起こるもの。
4. **Applicant【申請者】**: 認定された認証機関に GLOBALG.A.P. の認証を受けることを申請する志願者。申請者の例としては、個別生産者、複数の生産サイトを持つ個別生産者、生産者グループ、家畜輸送業者、配合飼料製造業者などである。
5. **Aquaculture scope【水産養殖基本】**: この GLOBALG.A.P. スコープは、魚類・甲殻類・軟体動物に限らず生産者の登録する特定の生物種の全ての生産段階を網羅するが、その幼生が制御されたシステム下において家畜化された種親に由来するものであること(プランクトンからの半自然的収集はこれにあたらぬ)、幼生供給が商業実用化されている(研究段階のものではない)ことが要件である。飼育されていない野生魚/漁獲魚では水産養殖認証を得ることはできない。
6. **Arable land【耕作地】**: 農作物の生産が可能な土地。
7. **Associate member【準会員】**: GLOBALG.A.P. 認証制度の促進に協力することに署名した認証機関、コンサルタント会社、農薬または肥料会社、大学など。
8. **Audit【監査】**: 根拠を入手し、監査基準が満たされているかについての客観的に評価を行うための、体系的で、独立し、文書化された手順 (ISO 定義)。GLOBALG.A.P. システム内では、監査は生産者グループあるいはオプション1 マルチサイト生産者の品質管理システム (QMS) の評価をすることを指す。
9. **Auditor【監査員】**: GLOBALG.A.P. システム内において監査員とは、生産者グループおよび QMS を伴うオプション1 マルチサイト生産者が GLOBAL G.A.P. 基準に適合すべく実施している品質管理システムを監査する資格者のこと。QMS チェックリストは GLOBALG.A.P. ウェブサイトから入手可能。また GLOBALG.A.P. 監査員は、生産サイトを検査する資格もある。
10. **Benchmarking process【ベンチマーキングプロセス (同等性評価)】**: GLOBALG.A.P. システムにおけるベンチマーキングプロセス (同等性評価) は、生産者の認証プロセスを簡素化し、審査と費用の不要な重複を減らすため、ローカルの取り組みを理解し支援するとともに、共通で効果的な G.A.P.を形成するべく設定された。

11. **Benchmarking standard【ベンチマーク済基準】**: GLOBALG.A.P. ベンチマーキングプロセス（同等性評価）を経て、その認証システムが比較され、GLOBALG.A.P.と等しいまたは類似性があるとみなされた認証基準。
12. **Biennial【二年生作物】**: 生活環を 2 年以内に終える植物。
13. **Biocide【殺生物剤】**: 殺生物剤とは化学的もしくは生物的方法で、有害な生物を管理、軽減、除去するために使われる化学物質あるいは微生物。殺生物剤には主に次の二つの分類がある。
 - 1) 農薬（例：殺菌剤、除草剤、殺虫剤、殺藻剤、殺軟体動物剤、殺ダニ剤、殺鼠剤）
 - 2) 抗菌剤（例：殺菌剤、抗生物質、抗菌剤、抗ウイルス剤、抗真菌剤、抗原虫剤、抗寄生虫剤）
14. **Biodiversity【生物多様性】**: 1992 年のリオデジャネイロ国連地球サミットでは生物多様性の定義は、「すべての生物（陸上生態系、海洋その他の水界生態系、これらが複合した生態系その他生息又は生育の場のいかんを問わない。）の間の変異性をいうものとし、種内の性、種間の多様性及び生態系の多様性を含む」とされている。生物多様性は環境影響評価(EIA)や環境管理計画(EMP)と深い係わりがある。
15. **Biosecurity plan【バイオセキュリティ計画】**: ある区域への疫病の侵入と拡散に関わる潜在的な経路に対処し、化学的または生物学的なリスクを軽減するために適用されるべき予防的手法が記載されている文書。この計画には、確実にリスクが定期的に再評価され、それに応じた対策が講じられるための手順も記載されている。
16. **Biosecurity【バイオセキュリティ】**: 感染症、検疫対象の有害生物、侵略的外来生物、遺伝子組み換え生物から守るために講じられる一連の予防的手段。疫病による死亡率と感染による生産減は経済的損失の主な要因であるだけでなく、消費者にとって重大な食品安全性上の問題である。
17. **BIPRO【ブランド高潔性プログラム】**: Brand Integrity Program of GLOBALG.A.P. の略で、GLOBALG.A.P. 商標の使用状況、データベースの使用状況、データの正確性を監視するとともに、認証機関によるデータベース上の誤情報、不完全情報、欠落情報の登録に対処するもの。
18. **Broiler【ブロイラー】**: 食肉用に飼育された鶏（*Gallus, gallus, domesticus* とも言う）。
19. **Broodstock (source: Aquaculture)【種親（魚類）】**: 繁殖目的のため隔離されている、性的に成熟した養殖魚の個体群。
20. **Buffer zone【緩衝地帯】**: (1) 保護区域の境界に隣接した境目地帯、(2)それぞれ異なる目的のもと管理されている区域の間にある変わり目地帯。
21. **Bund【堤防】**: 土壌侵食、流亡を防ぐための土、地面、床の上の防壁(dyke, embankment など同義)。
22. **Calibration【較正】**: 機器の精度を決定すること。必要な補正値を確認するために、標準値からの変化量を測定し行う。

23. **Certification Body Committee (CBC)【認証機関委員会 (CBC)】**: GLOBALG.A.P. 統制機構を構成する委員会の一つ。CBC は GLOBALG.A.P.の準会員である認証機関の委員会。CBC の主な課題は、必要に応じて高潔性を維持向上させるためのプロセスと手法の提案、技術的な問題、基準、実施に関するすべての事項の促進・調和、実務の観点から一般規則と管理点と適合基準の最適化の提案。
24. **Certification body (CB)【認証機関】**: ISO/IEC 17065 認定要件を満たし、GLOBALG.A.P.一般規則と「GLOBALG.A.P.ライセンスおよび認証契約」に従い、生産者および生産者グループに、検査や認証といった GLOBALG.A.P.基準に対する適合評価サービスを提供する組織。
25. **Certification Committee【認証委員会】**: 認証機関内において、申請された生産者/生産者グループを認証するかどうかの最終的な決定を下す権限を持つ人物、またはグループ。
26. **Certification【認証】**: ISO/IEC 17065 認定に沿った証明書の発行にかかるすべての措置 (例:申請、登録、監査/検査、是正措置など)。
27. **Certified producer/producer group【認証生産者/生産者グループ】**: GLOBALG.A.P.に承認された認証機関による検査/監査に合格し、GLOBALG.A.P.認証を取得した申請者。
28. **Checklist (CL)【チェックリスト (CL)】**: 生産者、生産者グループ、認証機関およびファームアシュアラーによる検査・監査を容易にするために、GLOBALG.A.P.が開発した検査および監査のツール。
29. **CIPRO【CIPRO】**: Certification Integrity Program of GLOBALG.A.P. の略で、GLOBALG.A.P. に承認された認証機関による検査、監査、認証の遂行具合に焦点を当てており、1) 事務所評価 2) 認証機関の検査員/監査員による生産者評価または証人による評価の 2種類の査定からなる、リスクに基づくプログラム。
30. **Competent authority【管轄当局】**: 指定された職務を実行したり、勧告/決定を行ったりする裁量と権力を法的に委任された、または与えられた人物または組織。
31. **Compliance criteria (CC)【適合基準】**: 各管理点の補足説明と、管理点の要求事項に首尾よく対処するための方法。
32. **Compost【堆肥】**: 腐植を形成するために空気の存在下で行う、有機質の制御された生物学的分解。制御された堆肥化の方法としては、機械による混合と通気、垂直かつ連続的に配置された通気室を落ちていくことによる換気、野外保管時の定期的な混合または切り返しなどがある。
33. **Compound Feed Manufacturing (CFM) Standard【配合飼料製造 (CFM) 基準】**: 配合飼料製造者が保証システムを実施し、それを証明する為の一連の規則および管理点と適合基準。家畜および水産養殖の生産者が、適切で確かな配合飼料供給者を選定するのに役立つ。

34. **Compound feed【配合飼料】**: 配合飼料（完全にまたは補助的に）は、あらゆる材料（薬品飼料/サプリメントを除く）を原材料として製造される。GLOBALG.A.P.における配合飼料には、まぐさや穀類（単純飼料原料）、既に混合されているもの、添加物、医薬用飼料（調合済みの飼料サプリメント）などは含まない。
35. **Consumer【消費者】**: 製造や再販売をせず、個人的な利用のために製品やサービスを購入する個人。
36. **Contract farming【契約農業】**: FAO (FAO AGRICULTURAL SERVICES BULLETIN 145, 2001) の定義において、契約農業とは、生産物の生産と供給について生産者と加工事業者および販売会社との間での合意。この合意に基づき、市場供給、資源供給、経営明細を考慮した価格を事前に取り決めることが多い。
37. **Contractual non-conformance【契約不順守】**: 1) 認証機関が GLOBALG.A.P. と締結した契約に準拠しておらず、認証機関の制裁に繋がる可能性がある。2) 生産者が認証機関と締結した契約に準拠しておらず、生産者の制裁に繋がる可能性がある。
38. **Control points (CP)【管理点 (CP)】**: GAP を実践するために GLOBALG.A.P.が要求する個々の事項。GLOBALG.A.P.基準の中で、管理点は上位の義務、下位の義務、推奨事項に分類されている。
39. **Control Points and Compliance Criteria (CPCC)【管理点と適合基準 (CPCC)】**: 生産者の取り組みを内部的および外部的に評価するための基準文書を構成する、包括的な管理点および適合基準のセット。
40. **Conversion ratios【変換率】**: 取り扱い工程におけるロスのこと、マスマランスを算出する際に使われる。
41. **Corridor【回廊】**: (1) 交通機関の現在または未来の立地を特定した線状の細長い土地、あるいは、境界内での通路の敷設権。(2) 野生生物によって利用され、2つのエリア間で潜在的な生物因子の移動を可能にする、細い植生帯。
42. **Cover crop【被覆作物】**: 1) 繊細な実生を一時的に保護する作物、および/または 2) 季節的な土壌の保護と改善のための覆いとなる作物のこと。果樹園、樹木、およびブドウ園においては永続的な植物の覆いが維持されているが、一般的な被覆作物はたいてい通常の耕作期間の合間に育つ一年生作物である。また、土壌にすき込まれる被覆作物は緑肥作物とも呼ばれる。
43. **Covered crops【施設作物】**: 構造物（例えば温室、ビニールハウス等）の下や内部において、覆われて育つ作物。ここで言う構造物とは、基礎の有無にかかわらず、ある程度調節された生産環境のもとで(個々の植物や樹木の覆い、ネット、低いトンネル、電除け、マルチは含まない)、人間がアクセス可能（歩いて入ることが可能）であり、プラスチック、ガラス、またはその他の類似素材でできているものを指す。
44. **Critical control point (CCP)【重要管理点 (CCP)】**: 生物的、化学的、または物理的な危害要因を予防、排除、または許容可能な安全水準に低減するため、コントロールされる生産工程中のポイント、ステップ、手順。

45. **Critical limits 【許容限界】**: 食品安全の危害要因の発生を予防、排除または許容可能な水準まで低減するために、重要管理点において管理されるべき生物的、化学的または物理的パラメータの最大値および最小値。
46. **Crop rotation system 【輪作】**: あらかじめ決められた計画に従い、ある区画で特定の作物を育てた後に別の作物を育てること。通常、作物は毎年変更されるが、数年ごとに行うこともある。とりわけ、作物の種類および順番は、土壌の肥沃度を向上させ、高い収量を維持し、総合的病害虫管理（IPM）の一環として病害虫の発生を防止するよう選定される。
47. **Customer 【顧客】**: サプライヤーから製品やサービスを購入する個人または団体。
48. **Declaration 【声明書】**: 関連する内容を記述し、作成者自身が署名した声明文。
49. **Dubbing 【ダビング】**: 繁殖や争いによる傷害を減らすため、電気メスにより繁殖雄の肉垂・鶏冠を焼灼すること。
50. **Ecological system 【生態系】**: 植物、動物、および微生物群集と、機能的単位としての非生物環境との動的複合体。
51. **Environment 【環境】**: 生産サイトを取り巻く水、空気、土地、動物相、植物相、人、自然資源(ISO DIS 14001:2015 の定義に基づく)。
52. **Environmental risk 【環境リスク】**: 生産の行程、事業、活動または施設に起因する流出物、排出物、廃棄物、資源の枯渇などによって、生物あるいは環境に悪影響を及ぼす潜在的な脅威。
53. **Erosion 【侵食】**: 風、雨、流水、氷河の移動などによって地表面が動き、結果として土地や土壌が摩耗すること。
54. **European co-operation for Accreditation (EA) 【欧州認定機関協力機構（EA）】**: 欧州エリアを対象とした、全国的に認知された認定機関の欧州ネットワーク (<http://www.european-accreditation.org>)。
55. **Farm Assurer 【ファームアシュアラー】**: GLOBALG.A.P.とのライセンス契約に署名した組織(独立した個人または個人の集まり)。訓練され、承認されたコンサルタントとして、生産者が GAP を実践し、GLOBALG.A.P.認証を取得する準備を手伝う。
56. **Feed conversion ratio/rate (FCR) or feed conversion efficiency (FCE) 【飼料変換率/割合（FCR）または飼料変換効率（FCE）】**: 動物が飼料摂取量を体重増加量に変換する効率の尺度。具体的に FCR は、一定期間中の食物摂取量(“乾燥”重量 kg)を体重増加量(“湿”重量 kg)で割った値である。FCR には単位がない、すなわち FCR に関連する測定単位は存在しない。FCR の低い動物は肥育効率が良いと考えられている。
57. **First harvest (first crop) 【初回収穫（初回作物）】**: このデータは登録料を算出する際に重要である。登録されたエリアにおいて認証周期ごとに一つの作物しかない場合、またはこの認証周期で初めてエリアが登録された場合は”初回収穫”を選択する必要がある。生産者が多年生作物/樹木作物のみを登録する場合には必ず”初回収穫”が選択されなければならない(further harvest の定義も参照)。

58. **Food defense【フードディフェンス】**: 思想的な動機に基づく攻撃を含め、汚染や供給障害を引き起こすあらゆる形の悪意ある攻撃から、食料と飲料、およびそのサプライチェーンを守ること。
59. **Food fraud【食品偽装】**: 消費者を欺いて金銭的利益を得ること（例えば、不適切かつ潜在的に有害な食品の販売、食品の意図的な詐称記述など）を目的として、食品が意図的に市場に出された場合に生じる。また、盗難された食品や、違法に生産された食品の販売も含む。
60. **Food safety【食品安全】**: 食品が使用目的に応じて調理し消費された場合、食品が消費者に害を及ぼさないという保証。
61. **Forest patches【森林区画】**: 比較的均質な森林の単位として識別可能な生態系の尺度。該当の単位においては、その構成、構造、生態学的機能が同等であるため、想定外あるいは望まない結果をもたらす恐れのある生態学的パラメータの変化を起こさずに、生態系配慮型の森林利用規定を均一に適用することが可能である（林分としても知られている）。
62. **Fumigant【くん蒸剤】**: 害虫、線虫、菌類、バクテリア、及び雑草の種、根、地下茎や雑草そのもの等の駆除を目的とする揮発性の液体、あるいはガス。
63. **Further harvest (subsequent crop)【後続の収穫】**: 認証済み作物が認証サイクルとしてすでに登録されている区画において再び栽培される場合は次点の収穫として登録が必要である。後続の収穫として登録された面積は追加の生産者登録料の対象とはならない。
64. **General Regulations (GR)【一般規則】**: 一般規則の文書には、申請者が GLOBALG.A.P. 認証を取得、維持するための基本的な手順と規則、ならびに、申請者、GLOBALG.A.P.、及び認証機関の役割と関係について記載されている。一般規則は パート I - 一般要求事項、パート II - QMS に関するルール、パート III - 認証機関と認定のルール の三部構成。
65. **GLN (Global Location Number)【グローバルロケーションナンバー】**: 世界的サプライチェーンにおける物理的所在地および法的実体の識別という課題に解決策を与える番号(<http://www.gs1.org/1/glnrules/>)。
66. **Global Food Safety Initiative (GFSI)【世界食品安全会議】**: 既存の食品安全規格を承認するとともに、サプライチェーンにおける情報交換、消費者への啓蒙、および小売りの優良事例の評価などの仕組みづくりを推進している。
67. **GLOBALG.A.P. Risk Assessment on Social Practice (GRASP)【グラスプ】**: 農場における社会的活動を自発的に評価すること。評価結果は GLOBALG.A.P. 認証に影響を与えるものではないが、評価結果へのアクセス権を有するサプライチェーンパートナーにとっての補完的情報となりえる。

68. **GLOBALG.A.P. Integrity Program 【GLOBALG.A.P. 高潔性プログラム】** : GLOBALG.A.P. システムの高潔性を強化することで、GLOBALG.A.P. 認証の価値を検証し、維持し、場合によっては向上させるための、一連の検証活動。GLOBALG.A.P. から委任された専門家が認証機関のパフォーマンスを確認するための調査活動を行う。高潔性プログラムは商標高潔性プログラム(BIPRO)と認証高潔性プログラム(CIPRO)の二つの柱からなる。
69. **GGN (GLOBALG.A.P. Number) 【GLOBALG.A.P.ナンバー】** : 登録時に GLOBALG.A.P. から生産者へ割り当てられる固有の 13 桁の番号のことで、GLOBALG.A.P.における全ての活動の唯一の識別子となる。個々の GGN は法人が存続する限り有効で、かつその法人に紐付く。また GLOBALG.A.P.ウェブサイトにおいてその認証が有効であるかを検証する際に GGN が検索要素となる。もし申請者が既に GLN を有している、あるいは購入するのであれば、GLN を GGN として使用できる。
70. **GLOBALG.A.P. certification system 【GLOBALG.A.P. 認証システム】** : GLOBALG.A.P. 一般規則と管理点および適合基準に記述されている、全体的な認証の仕組み。
71. **GLOBALG.A.P. standards 【GLOBALG.A.P.基準】** : GLOBALG.A.P.の管理点と適合基準は、異なるモジュールに分かれており、それぞれが生産サイトにおける様々な領域やレベルの活動を網羅している。これらのモジュールは、スコープモジュールとサブスコープモジュールにグループ分けされる。スコープモジュールは、生産段階でのより全体的な課題を網羅し、より広範に分類されている (全農場基本, 農作物基本, 畜産物基本, 水産養殖)。サブスコープモジュールは、より特定の生産活動を詳しく網羅しており、生産物の種類によって分類されている。
72. **Good Agricultural Practice (G.A.P.) 【農業生産工程管理】** : FAO COAG 203 GAP paper において「農場での生産行程において環境的、経済的、社会的な持続性に配慮することで、結果として食用及び非食用の農作物の安全と品質を高める取り組み」と定義されている。
73. **Groundwater 【地下水】** : 地表面下の帯水層に存在し、かつ地盤と直接接している全ての水。
74. **Harvesting containers 【収穫用容器】** : 収穫時および収穫後に作物を保管・移動するために使用する容器。
75. **Harvesting tools 【収穫用器具】** : 手袋、はさみ、ナイフ、剪定ばさみ等、農産物を親株や栽培サイトから切り離すために使用する器具。
76. **Hazard Analysis Critical Control Points (HACCP) 【危害分析重要管理点 (HACCP)】** : 最終製品の原材料生産から調達仕入、製造、出荷から消費に至るまでの行程で想定される生物学的、化学的、物理的有害要因の分析とその管理に利用される食品安全管理手法のひとつ。
77. **Hazard 【有害要因】** : 作業員、消費者、環境を危険な状態にさらす可能性のある生物学的、化学的、物理的、あるいはその他の要素。

78. **Herbicide【除草剤】**: 雑草の抑制や除去に使用する薬品。
79. **High conservation value area (HCVA)【重点保護区】**: 生物多様性、生態系および文化的固有性、また基本的な生態系サービスの維持・増進のために、適切に管理される必要がある重要区画。
80. **Home mixer【自家混合者】**: 原料生産を行う圃場を出ずに自家混合飼料を製造する生産者。1) 圃場内で自家使用のために飼料プレミックスあるいは添加物を用いて飼料を調合・混合する(すなわち配合飼料を製造する)生産者と、2) 圃場内で原料を混合するが、飼料プレミックスあるいは添加物を用いない(すなわち配合飼料を製造しない)生産者の2分類に区分される。
81. **Individual certification【個別認証】**: 申請または認証された主体が単独の生産者である場合。
82. **Initial inspection【初回検査】**: 1)生産行程の認証のための最初の検査、あるいは2)認証スコープに新しい生産物が加えられるときの検査、あるいは3)認証が失効して12か月以上経過した後の検査、を指す。
83. **Inlet water (Aquaculture)【流入水(水産養殖)】**: 水産養殖の目的で使用される、地上の水源から引き込んだ水。入り江に見られる。
84. **Inorganic fertilizer【無機肥料】**: 表示されている成分が、抽出、あるいは物理的・化学的な工業プロセスを経て生成される鉱物の形で含まれている肥料。
85. **Inspection【検査】**: 生産サイトレベルでのCPCCへの適合を確認すること。
86. **Inspector【検査員】**: 一般規則パートⅢに定められた資格要件を満たし、GLOBALG.A.P.の検査を実施する人。
87. **Integrated crop management (ICM)【総合的農作物管理】**: 長期的な持続可能性の要求に合致した作物体系。作物管理の収益性だけでなく、自然環境やその土地の土質、天候、経済状況への配慮を含めた農場経営全体の戦略。それは長期的に見て、農場の持つ自然の資産を守ることにつながる。ICMの作物生産には決まった形があるわけではなく、最新の研究や技術、アドバイスや経験を有効に活用し適応していく、動的なしくみである。
88. **Integrated Farm Assurance (IFA)【総合農場保証】**: 植物や家畜から水産養殖まで、さまざまな生産物の分類に応じたモジュールを組み合わせ、1つに統合された基準。
89. **Integrated farm management【総合的農場管理】**: 畜産や水産養殖等も含め、あらゆる種類の農場に適用されるICMの概念。
90. **Integrated pest management (IPM)【総合的病害虫管理】**: すべての利用可能な病害虫管理の技術に対する慎重な配慮と、それに続く適切な手段の組み合わせで、病害虫の密度を経済的許容水準まで下げ、農薬その他の介入手段の効果を維持し、人間の健康と環境にとってのリスクを最小化すること。IPMでは、農業生態系のかく乱を可能な限り小さく抑えることで健康な作物を育てることを強調し、自然の、化学物質に頼らない病害虫管理のしくみを推奨している。

91. **Internal auditor【内部監査員】**: 認証の要求事項への適合状況を評価するために、生産者グループまたは QMS を実施している個別のマルチサイト生産者の QMS 監査および報告を行う、資格を持った個人（資格要件は一般規則パート II に規定されている）。内部監査員は通常、内部検査員によって準備された検査報告に基づき、生産者グループのメンバー、あるいはマルチサイトの生産サイトを承認する権限を持っている。
92. **Internal inspection【内部検査】**: 生産者グループの場合はすべての登録されている生産者グループメンバーの、QMS を伴うマルチサイト経営の個別生産者の場合は全てのサイトの、年次の農場レベルでの検査は内部検査員によって実施される。これらの検査の目的は、管理点と適合基準が適用されるそれぞれの生産者メンバーまたはサイトの適合レベルを判定することである。
93. **Internal inspector【内部検査員】**: 認証の要求事項への適合状況を評価するために、生産者グループメンバーまたは生産サイトの検査を実施し報告を行う、資格を持った個人（資格要件は一般規則パート II に規定されている）。
94. **International Accreditation Forum (IAF)【国際認定フォーラム】**: 国際認定フォーラム (IAF) は、マネジメントシステム、製品、サービス、人事、その他の適合性評価に関する類似したプログラムの分野における、適合性評価認定機関およびその他の適合性評価に関係する団体の国際的な団体である。その主な役割は、適合性評価に関する世界共通のプログラムを構築し、ビジネス上のリスクを低減し、認定された認証の <http://www.iaf.nu/> への準拠を顧客に保証することである。
95. **International Organization for Standardization (ISO)【国際標準化機構】**: 100 か国以上の国を代表する標準化団体が集結した世界的な連合体。メンバー組織は協力して国際標準の開発と普及に取り組んでいる。食品に関しては、食品安全マネジメントシステムに対する要求事項を決めている。その食品が人々に消費される時点で安全であることを確実にするために、フードチェーンの一部を担う組織は食品安全上のハザードを自分たちでコントロールできるということを示す必要がある (<http://www.iso.org>)。
96. **Juvenile【幼体】**: 誕生（孵化、発芽等）後の、まだ性的に成熟していない個々の生物。
97. **License and Certification Agreement【ライセンス契約書】**: スキームオーナーとしての GLOBALG.A.P. の、および、GLOBALG.A.P. システムの枠組みの中で承認され、第三者として監査、検査、認証、資格認定といった活動を行う認証機関の、権利と義務を定めた法的文書。
98. **Litter【廃棄物】**: 不適切な場所に不適切に、同意せずに廃棄された廃棄物で構成されるもの。
99. **Livestock scope【畜産物スコープ】**: この GLOBALG.A.P. 認証は、生産サイトごとに登録された、農場に存在する全ての家畜を網羅している。
100. **Major Must【上位の義務】**: GLOBALG.A.P. 認証を取得するために生産者が適合しなければならない管理点の 3 分類の一つ。上位の義務は 100% 適合することが必須である。

101. **Management【管理者】**: 組織(生産者/生産者グループ)により設定された目的を達成するため、労働者やその活動を含む利用可能な資源を調整する個人、または個人の集まり(組織の規模に応じる)。
102. **Mangroves【マングローブ】**: マングローブとは、1 種または複数の真のマングローブを含む地域として広く定義されている。Saenger ら(1983)によれば、約 60 種がマングローブ生息地に限定されている。このリストは
103. **Manure【有機質肥料】**: 土壌を肥沃化するために使用される有機物で、通常は家畜の糞便や尿、もしくはそれに藁、干し草、寝藁を混ぜたものである。また、作物を土壌や後作への有益な効果のために栽培し耕うんする場合、それらの作物を緑肥と呼ぶことがある。これらの作物は通常、イネ科やマメ科の一年生作物である。
104. **Mass balance【マスバランス】**: 投入した原材料の量にプロセス中の廃棄や再加工を考慮し、使用されて最終製品になった量と照合することとして定義されている。
105. **Medicines【医薬品】**: 鎮静剤や麻酔剤のように中枢神経に作用する物質を含む、健康状態や疾病の診断・予防・緩和・治癒または治療に使用される物質。
106. **Milking parlor【搾乳場所】**: 乳牛の搾乳をする場所。
107. **Mineral oil fractions (MOSH, POSH, MOAH)【ミネラルオイルフラクション (MOSH, POSH, MOAH)】**: ミネラルオイルフラクションは、食品(茶など)が不適切な輸送箱/容器/袋に保管された場合に化学的汚染として現れることがある。特に再生紙もしくはジュートバッグから作られた包装資材はミネラルオイルの発生源になりうる。MOSH (ミネラルオイル飽和炭化水素類)、POSH (ポリオレフィンオリゴマー飽和炭化水素)および MOAH (ミネラルオイル芳香族炭化水素類) は、化学分析によって検出され、この種の汚染の存在を示すことができる異なるフラクションである。
108. **Minor Must【下位の義務】**: GLOBALG.A.P. 認証を取得するために生産者が適合する必要がある管理点の三分類の一つ。生産者は適用される下位の義務の総数の 95%に適合しなくてはならない。
109. **Module【モジュール】**: 基準文書の一部であり、共通の基準の下で一連の管理点がグループ化されたもの(すなわち、全農場基本およびその他のスコープとサブスコープをさす)。

110. **National Interpretation Guideline (NIG)【国別解釈ガイドライン】**: GLOBALG.A.P.の CPCC の実践に関する国レベルでのガイダンスを提供する文書。NTWG によって作成され、透明な承認手続きを経る。一旦承認されると、その国別ガイドラインは正式な GLOBALG.A.P.文書となる。関係する国で仕事をするすべての認証機関は、認証手順の中にこのガイドラインを含めなければならない。
111. **National Technical Working Group (NTWG)【国別技術作業部会】**: GLOBALG.A.P. の地域レベルでの実践に際し解釈を明確にする必要がある国で、複数の利害関係者によって自主的に設立されるローカルグループ。グループはその地域特性に基づき、GLOBALG.A.P. の実践と継続的改善をサポートする。
112. **National intertidal zone【自然の潮間帯】**: 干潮時に空気に曝され、満潮時には海面下になる海岸及び海底の領域（すなわち満潮時水位と干潮時水位の間の領域）。自然の潮間帯は、人工堤防や護岸（沿岸域としても知られる）のような人為的な改変によって地域の水文学に変化を加えることなく存在するものである。
113. **Non-compliance【不適合】**: GLOBALG.A.P.チェックリストの管理点に紐づく適合基準を満たしていないこと。
114. **Non-conformance【不順守】**: GLOBALG.A.P. 認証を取得するために必要な GLOBALG.A.P. の規則が侵害された場合に発生する。例えば、必須項目の 100%または重要項目の 95%に達成していない生産者は不順守の状態である。また、ハザードの発生をもたらす、CCP（重要管理点）で設定した許容限界からの逸脱もこれに当てはまる。
115. **Nitrogen balance【窒素バランス】**: 窒素循環に基づき、土壌へ投入した総窒素量と、土壌から年間で排出される窒素量の差として計算される。
116. **Organic agriculture【有機農業】**: 有機農業は、輪作、緑肥、堆肥、生物学的防除などの技術を駆使する農業の一形態である。有機農業は肥料や農薬を使用するが、工業生産された（合成）肥料や農薬、植物成長調整剤、家畜用抗生物質、食品添加物、遺伝子組み換え作物、人間の下水汚泥、ナノマテリアルの使用を禁止、または厳格に制限している。有機農業手法は国際的に規制され、多くの国で法的に施行されている。
117. **Organic fertilizer【有機質肥料】**: 植物の栄養、土壌の物理性、化学性、生物活性を維持または改善するために使用される、植物および動物に由来する原料（例えば、畜糞、堆肥、消化残渣）で作られた肥料。
118. **Outlet effluent【流出廃水】**: 1) 河川またはその他の水路に放出される液体の廃棄物。
2) 廃棄物と混ざり合っ外部へ流れ出る水。
119. **Outlet water【流出排水】**: 養殖業において使用された後、排水口から自然環境に還元される水。
120. **Overexploitation【過剰採取】**: 長期的な環境への影響と持続可能性への配慮を欠いた原材料の過剰な使用。
121. **Packhouse【包装施設】**: 収穫した農産物を取り扱う施設。農産物取り扱い施設または農産物取り扱い倉庫とも呼ぶ。PHU（農産物取り扱い単位）を参照。

122. **Parallel ownership (PO) 【並行所有】**: 並行所有は、個別生産者、生産者メンバー、または生産者グループが、認証済みの生産プロセスの下で栽培する品目と同じ品目の認証されていない生産物を購入する状況。
123. **Parallel production (PP) 【並行生産】**: 並行生産とは、個別生産者、生産者メンバー、または生産者グループが、同じ品目について一部を認証品として、また一部を非認証品として生産する状況のこと。また認証に登録される品目を生産する生産者グループのすべてのメンバーが、認証書の範囲に含まれていない場合も含む。
124. **Pathogen 【病原体】**: 病気を引き起こす可能性のある細菌、ウイルス、またはその他の微生物。
125. **Perennial 【多年生】**: その生活環が3年間以上続く植物。
126. **Plant propagation material (PPM) 【栽培用種苗】**: PPM とは、農作物スコープのもとで認証を受けることができる農作物（「GLOBAL.G.A.P.生産物リスト」で定義）を栽培するために使用される、植物あるいはその一部をいう。これは、播種、苗移植、その他の植物を栽培・増殖する手法に利用される。PPM サブスコープのもとで認証済みの生産物は、そのまま人間が消費すること、または飼料とすることを想定していない。
127. **Plant protection product (PPP) 【農薬】**: 虫、雑草、カビ、その他農産物に病虫害を引き起こすと考えられる生物体を制御するための物質やその混合物。
128. **Pollution prevention 【汚染防止】**: 有毒あるいは危険な物質を使用することを避ける、または汚染物質や廃棄物が増えることを抑える、最小化する、減じるための資材の利用、プロセス、実践活動を示す。
129. **Post-harvest chemicals 【ポストハーベスト用化学物質】**: 収穫後に使用される農薬（使用可能なワックス、洗剤、殺生物剤、潤滑剤など）を含む。
130. **Post larvae (shrimp) 【ポスト幼生（エビ）】**: 幼生の形態から成体に成長した動物。通常、幼生の直後のステージの、すでに成体の特徴を示し始めた状態のみを指す。
131. **Potable water 【飲料水】**: WHO のガイドラインあるいはいくつかの国の法律で定められているような、飲料水の品質基準に適合した水。
132. **Preventive measure 【予防手段】**: 特定されたハザードを管理、軽減、除去するために用いられる、物理的、化学的、または生物的要素。
133. **Primary product 【一次生産物】**: 加工されていない生産物（加工品の定義を参照）。
134. **Procedure 【手順】**: 期待する結果に到達するための段階的な指示。
135. **Processed product 【加工品】**: 生産物の構造が外観、外形上変化した場合。
136. **Producer group 【生産者グループ】**: 内部手続きを経て認証を申請している、あるいは既に取得している生産者メンバーと、登録されたメンバーの全員が GLOBAL.G.A.P. の要求事項に適合するための内部統制機能と、最高権限を持つ管理代表者で構成されるグループ。生産者グループには GLOBAL.G.A.P. データベースに登録されていないメンバーが所属する場合もあるが、その場合は未登録のメンバーの生産物が分別されるシステムが確立されていることが必要である。

137. **Producer 【生産者】**: 認証スコープに関連する生産プロセスと生産物、およびその販売に対して法的な責任を持つ、個人（法人でない個人）、法人（会社・個別生産者・生産者グループ）を示す。生産者という単語は GLOBAL.G.A.P. 一般規則において、家畜輸送会社と飼料製造業にも使用される。
138. **Product handling 【生産物取り扱い】**: 他の資材や物質に物理的に接触する可能性のある、収穫後に行われるあらゆる生産物の取り扱いを指す。青果物のサブスコープでは、保管、化学的処理、トリミング、洗浄などが含まれるが、加工は含まれない。水産養殖のサブスコープでは、関連する CPCC に記載されている加工（氷蔵、締め、血抜き、内蔵除去、三枚おろし、再包装、冷凍、調理など）も含まれる。
139. **Product handling unit (PHU) 【生産物取り扱い単位 (PHU)】**: 生産物を取り扱う施設。GLOBAL.G.A.P. で登録された生産物を扱う全ての PHU は、識別され登録されなければならない。
140. **Production site 【生産サイト】**: 所有地または借地であり、一つの法人によって完全に管理されており、同じ投入資源（例：水の供給、労働者、道具、施設）が利用されている生産エリア（例：圃場、区画、池、牧場）。一つのサイトはいくつかの非隣接エリア（共通の境界を持っていない、非連続のエリア）を含むこともあり、同じサイトで二つ以上の品目の生産が可能である。GLOBAL.G.A.P. の認証スコープに含まれる品目を生産している全ての生産サイトは、識別され登録されなければならない。
141. **Protected areas 【保護区】**: 生物多様性、および天然資源とそれに付随する文化的資源の保護と維持を目的として、法的に、あるいはその他の効果的な手段で管理された土地や海域。6 つの IUCN 保護区管理分類は以下の通り：厳格な自然保護区、国立公園、天然記念物、生息地・種の管理区、景観保護区、管理資源保護区。保護区の世界データベース（WDPA）では最も充実した保護区域のデータが利用できる。
142. **Pullet 【若雌鶏】**: 若いめんどり、特に一歳未満のもの。
143. **Pyrrolizidine alkaloids (PAs) 【ピロリジジンアルカロイド (PAs)】**: 草食昆虫に対する防御機構として植物によって生成される。こうした物質はハチミツ、穀物、ハーブ、茶などの農産物を汚染する可能性がある。
144. **Quality management system (QMS) 【品質マネジメントシステム (QMS)】**: 品質マネジメントを行うために必要な組織構造、手順、工程や資源。GLOBAL.G.A.P.において、QMS の実行はグループ認証では義務づけられているが、個別生産者のマルチサイト認証では任意である。
145. **RAMSAR sites 【ラムサール条約湿地】**: ラムサールリストには、ラムサール条約の締結国によって国際的な重要性が認められた各湿地について、湿地の名前、指定日、所在地、合計面積、地理座標が記載されている (<http://www.ramsar.org/>)。
146. **Raw manure 【未処理糞尿】**: 堆肥化されていない、または人体に有害な病原体の確実な死滅処置が行われていない、固体または液体の動物の糞尿。

147. **Recall【リコール】**: 生産物がサプライチェーンから取り除かれ、生産者または取扱者に返還される工程。消費者が商品の返却や処分といった行動をとるよう勧告される場合もある。
148. **Reclaimed water【再生水】**: リサイクル水と呼ばれることもある。もともとは廃水（汚水）であったものを、固形物や特定の不純物を除去して持続可能な修景灌漑に使用したり、地下帯水層に涵養したりする。
149. **Recommendation【推奨事項】**: GLOBALG.A.P.基準における管理点の3分類の一つ。推奨事項の管理点は自己評価や外部の事前通知検査中に検査されなければならないが、十分に満たすことは義務づけられていない。
150. **Record【記録】**: 実施された活動や達成された結果を説明する客観的証拠を含む書類。
151. **Registration number【登録番号】**: 認証機関によって発行される、生産者や生産者グループを特定する番号。番号は常に各認証機関の省略名から始まる。
152. **Registration【登録】**: 個別生産者や生産者グループが、GLOBALG.A.P.に承認された認証機関と、認証の申請を開始する過程。
153. **Rehabilitation (of ecosystems)【(生態系の) 再生】**: 破壊された生態系や生息環境において、特定の生態系サービスが回復すること。
154. **Restoration (of ecosystems)【(生態系の) 復元】**: ある生態系が本来の群衆構造、天然の種構成、自然の機能を取り戻すこと。
155. **Retailer members【リテラー会員】**: GLOBALG.A.P. 基準を支持し、発展させることに関心のある、小売業者や食品サービス業の組織。
156. **Rinsate【すすぎ水】**: 1) 残った農薬とそれをすすぐために使用された水の混合物。2) 農薬を散布する機械や容器をすすぐ過程で発生した、農薬と水の混合物。
157. **Risk assessment【リスク評価】**: 危害因子が発生する可能性や頻度、重大さの予測手法（リスク分析とも呼ばれる）。
158. **Risk【リスク】**: 将来的に危害因子が発生する可能性。食品安全において、リスクは生物学的、化学的、物理的なものに分類される。
159. **Salinization【塩類集積】**: 時間の経過に伴い土壌の塩分が蓄積し、通常のレベルを上回った状態。
160. **Sanitized【衛生的にされた】**: 殺菌剤で洗浄（消毒）された状態。
161. **Scheme【スキーム】**: 同一の規定された要求事項、規定のルールや手続きが適用される、特定の製品に関する認証システム。（ISO 定義）
162. **Seepage【浸透】**: 地表流、水路、溝渠、池、湖沼、溪流、川、またはその他の地表の水源に由来する地表水の浸潤および浸透。
163. **Self-assessment【自己評価】**: GLOBALG.A.P.のチェックリストに基づき生産者の責任に基づき行われる、生産システムと登録された生産物の内部的な検査。オプション1および3のみに適用。

164. **Sewage sludge 【下水汚泥】**: 自然または人為的処理の結果として、さまざまな種類の水から分離され、湿った、あるいは液体成分と混ざった状態の、堆積した沈殿個体。
165. **Sewage water 【下水】**: 廃棄物が混ざった状態の水。
166. **Sewage 【汚物】**: 生活および/または商業活動によって発生し、下水に排出された、廃棄物および廃水。
167. **Signature 【署名】**: 手書きまたは<ボタンを押す>のいずれかによって手作業で記録された、個人の、譲渡不可能で、目に見え、間違いのないその人だけの識別子でなければならない。パスワード保護だけでは個人の特定は保証されない。
168. **Social impact assessment 【社会的影響評価】**: 計画的な介入（政策、プログラム、計画、プロジェクト）およびそれらの介入によって引き起こされるあらゆる社会的変化プロセスの、意図的および意図しない社会的影響（正と負の両方）を分析、監視および管理するプロセスを含む（国際影響評価学会による定義は <http://www.iaia.org/> を参照）。
169. **Standard 【基準】**: 基準とは、材料、製品、プロセス、およびサービスがその目的に適合することを確実に担保するために一貫して使用できる、要件、仕様、ガイドラインまたは指標が書かれた文書（ISO の定義）。
170. **Standard operating procedures 【標準作業手順書（SOP）】**: 機構構造が完全に規定され、特定のルーチンまたは反復作業を実行するための方法として一般に受け入れられている操作、分析、または行動を詳述した文書。
171. **Subcontractor 【外部委託業者】**: 生産者と契約して特定の農作業を行うための労働力、設備、および/または資材を提供する企業（例えば、穀類の収穫、農業散布、果物の摘果収穫の外注）。
172. **Sub-license and Certification Agreement 【サブライセンスおよび認証契約】**: GLOBALG.A.P. システム内の市場で活動する関係者としての、承認された認証機関と生産者または生産者グループの権利と義務を確立する法的文書。
173. **Sub-scope 【サブスコープ】**: 生産物のタイプごとに分類された特定の生産の詳細をカバーするモジュール。例えば、青果物、コンバイン作物、茶、花卉・観葉植物は全て農作物基本スコープのサブスコープである。
174. **Substrate 【培地】**: 土壌の代わりに植物を保持するために使用される栽培用資材で、サイトに持ち込まれ、使用後に取り除くことができるもの。
175. **Supplier member 【サプライヤー会員】**: 認証を受けるよりも GLOBALG.A.P. へのコミットメントを示すことに関心のある生産者。メンバーシップと認証は相互に排他的である。
176. **Supplier 【サプライヤー】**: サプライヤーとは、商品やサービスを消費者顧客に提供する個人または組織を指す。
177. **Surface water 【地表水】**: 河川、溪流、池、湖、沼地、湿地、氷雪、汽水域、沿岸海域、海洋水域などに見られる、地球表面のすべての水。

178. **Sustainable water sources** 【持続可能な水源】：水生生物の生態系の継続的な健全性を確保し、環境、経済成長、農業生産における水需要のバランスを保つように管理されている水源。
179. **Technically responsible person** 【技術責任者】：認証品に関する技術的な意思決定を行うための知識と権限を有する者。意思決定は、特定の責任範囲または全体的なものであり、生産者またはアドバイザーのいずれかが担うこともある。
180. **Toilet** 【トイレ】：人が衛生的な方法で排泄、排尿することができ（ゴミの処分を含む）、周辺の畑に食品安全汚染のリスクを与えず、ない一方でその人のプライバシーをも確保する施設。
181. **Top soil** 【表土】：腐植質が比較的豊富な土壌断面の上部は、技術的に土壌断面の A 層位として知られている。
182. **Traceability** 【トレーサビリティ】：記録された識別情報によって生産物の履歴、使用、または場所を遡る機能（例えば、原材料の出所、栽培管理行程の履歴、および/または生産物の出荷量と出荷先）。
183. **Verification** 【検証】：生産物、行程、あるいはサービスが特定の要件を満たしているという証拠を調査することによる、確認作業。
184. **Veterinary health plan (VHP)** 【獣医療計画 (VHP)】：獣医師と、訓練を受けた人員による、継続的なケアを通じて動物の最適な健康状態をサポートする計画文書。この中で、病気の予防策、定期的に起こる症状の治療法、予防接種の推奨手順、寄生虫管理について特定する。
185. **Waste matter** 【廃棄物】：価値がない、あるいは望ましくないものとして使用されず拒否されたあらゆる資材。
186. **Water course** 【水の経路】：表面水の一部を成す、明確に分離・識別できる要素；たとえば湖、貯水池、小川、河川や運河、これらの一部分、汽水域、あるいは沿岸水の延長。
187. **Weed** 【雑草】：望まない場所に育ったあらゆる植物。雑草は慣例的に、望ましくなく、経済的に有用ではなく、害悪の一種と考えられている。
188. **Wellboat** 【ウェルボート】：タンクの中に生きた魚を入れて輸送するための船。
189. **Withdrawal** 【回収】：生産物を最終消費者に届く前にサプライチェーンから取り除く行程。
190. **Worker** 【労働者】：任務を遂行するために契約された農場の人員。ここには農場で任務を遂行する農場の所有者や管理者、家族も含まれる。
191. **Working language** 【業務言語】：翻訳者の援助なしで監査/検査を実施できる言語。

注：本文書に掲載される用語と定義はこれらに限定されるものではありません。必要に応じて GLOBALG.A.P.により追加されます。

改訂履歴

新版	旧版	発行日	変更内容
200928_GG_GR_Part-I_Annex_I-4_V5_2_ja	180921_GG_GR_Part-I_Annex_I-4_V5_1_ja	2020 年 9 月 28 日	19 – 明確化 124 – 定義新設 163 – 明確化 173 – 文字削除

本文書の変更についてより詳細な情報が必要な方は、[変更箇所を表示した文書](#)をお読みいただくか、GLOBALG.A.P.事務局にメール(translation_support@globalgap.org)でお問合せ下さい。

改訂の内容によって規格に新たな要求が導入されない場合、版名は「5.0 版」のままとし、更新履歴上には「5.0-x 版」と表示します。改訂内容が規格への準拠に影響する場合、版名を「5.x 版」に変更します。新版(例:6.0 版、7 版等)は常に規格の認定に影響します。

著作権

© Copyright: GLOBALG.A.P. c/o FoodPLUS GmbH: Spichernstr. 55, 50672 Cologne; Germany. 変更を加えない場合に限り複写と配布を認めます。